

幼兒教育

國學院大學教授 神長 美津子



独立行政法人教職員支援機構

幼児教育



国立教育政策研究所編集指導資料『幼児期から児童期の教育』より

教育基本法改正（平成18年12月）

第11条（幼児期の教育）

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることにかんがみ、国及び地方公共団体は、幼児の健やかな成長に資する良好な環境の整備その他適当な方法によって、その振興に努めなければならない。

「幼児期の教育」とは

・ 家庭での生活

愛情ある人間関係の中でしつけを通して、人間として生きていく基本を学ぶ場

・ 幼稚園や保育所、認定こども園での生活

家庭での生活を基盤にして、家庭では経験できない、社会や文化、自然と出会い、幼児なりに「世界のより豊かさ」に出会う場

・ 地域社会での生活

さまざまな人々、さまざまな出来事と出会い、生きる世界が広がる

幼稚園、保育所、認定こども園での幼児教育

環境を通して行う教育を基本

幼児が身近な環境に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気付き、これらを取り込もうとして、試行錯誤したり、考えたりするようになる**幼児期の教育における見方・考え方**を生かし、幼児と共によりよい教育環境を創造する。

1. 幼児の主体的な活動を促がし、幼児期にふさわしい生活の展開
2. **遊びを通しての総合的な指導**
3. 一人一人の特性に応じる指導

その際、幼児の主体的な活動が確保されるよう、**幼児一人一人の行動と予想に基づき、計画的に環境を構成**する。

教師は・・・教材を工夫し、物的・空間的環境を構成する。
・・・活動の場面に応じて、様々な役割を果たす。

幼稚園（幼稚園教育要領） 保育所（保育所保育指針）
幼保連携型認定こども園（幼保連携型認定こども園教育及び保育要領）
幼児教育：3歳からの幼児教育は、3施設とも共通に行う。

幼児教育がめざしていること

「見えない教育」と言われているが・・・

1. 「後伸びする力」を育てる・・・生きる力の基礎
 - ・ 将来をしっかりと生きていくために必要な資質・能力
「しっかりとした根っこ」を育てる
2. 園修了までに育てたいこと・・・5領域のねらいを総合的に達成
 - ・ 領域「健康」 自ら健康で安全な生活をつくり出す力
 - ・ 領域「人間関係」 自立心を育て、人と関わる力
 - ・ 領域「環境」 周囲の環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこととする力
 - ・ 領域「言葉」 言葉に対する感覚や、言葉で表現する力
 - ・ 領域「表現」 豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする
3. 学校教育のはじまりとして位置付ける
 - ・ 幼児期の育みたい資質・能力の3つの柱
 - ・ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の10項目

幼児教育において育成すべき資質・能力の3つの柱

生きる力の基礎を育むため、次に掲げる資質・能力を一体的に育めるようにする。

- 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする「知識や技能の基礎」
- 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力・判断力・表現力等の基礎」
- 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

健康な
心と体

自立心

協同性

道徳性・
規範意識
の芽生え

社会生活
との関わり

思考力の
芽生え

自然との関わり・
生命尊重

数量・図形、
文字等への
関心・感覚

言葉による
伝え合い

豊かな感性
と表現

幼児期の終わりまでに育ってほしい幼児の具体的な姿（※）

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性の芽生え

規範意識の芽生え

いろいろな人
とのかかわり

思考力の芽生え

自然とのかかわり

生命尊重・公共心等

数量・図形・文字等への
関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

※「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（報告）」（平成22年11月11日）に基づく整理。中教審答申(平成28年12月)より

幼児理解に基づく指導

一人一人のよさや可能性が拓かれるとともに、
幼児期にふさわしい発達を保障すること



教師（保育教諭、保育士）の役割は、子どもとの信頼関係をつくり、子ども一人一人の主体的活動を促し、自らが発達に必要な経験を積み重ねていくことができるように、計画的に環境を構成し、援助を重ねていくこと。



生活や遊びを通して、5領域のねらいを総合的に達成できるように指導を展開
「意図的な側面」と「無意図的な側面」

教師（保育教諭、保育士）に求められることは、「計画性と柔軟性」
5領域に基づく教育課程を編成（全体的な計画を作成）し、それに基づき、指導計画を作成するとともに、教師（保育教諭、保育士）が指導力・実践力を身に付けること



幼児理解に基づく指導
幼児理解の基づく評価

指導計画の作成と保育の展開

指導計画の作成

① 幼児理解を深める

- ・ 幼児の思いや実現したいと思っていることを理解する

② 保育を構想する

- ・ 発達を見通して、園生活を見通して指導計画を作成 → 「愛情の設計」

指導計画の展開・保育の展開

③ 幼児の主体的な活動を確保する環境の構成

- ・ わくわくドキドキする環境づくり・計画的な環境の構成

④ 幼児一人一人の活動に添った援助、

教師（保育教諭、保育士）は多様な役割

- ・ 自らが発達に必要な経験が得られるように

反省・評価

⑤ 保育を振り返る・・ 保育記録を通して反省・評価

- ・ 教師（保育教諭、保育士）としての幼児とのかかわりを振り返る

↓ ↓
幼児理解をより深め、次の日の保育へ

幼児教育を学ぶための参考資料

- ・ 文部科学省「幼稚園教育要領解説」
- ・ 厚生労働省「保育所保育指針解説書」
- ・ 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」
- ・ 文部科学省「幼稚園における道徳性の芽生えを培うための事例集」
- ・ 国立教育政策研究所「幼児期から児童期の教育」
- ・ 文部科学省指導資料第1集「指導計画の作成と保育の展開」
- ・ 文部科学省指導資料第3集「幼児理解と評価」
- ・ 文部科学省指導資料第5集「指導と評価に生かす記録」
- ・ 文部科学省調査研究報告書 文部科学省の調査研究報告
「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について」
(平成22年11月)
- ・ 中央教育審議解会「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」平成28年8月26日
- ・ 文部科学省 初等教育資料『幼稚園年鑑』（毎年1回発行）
- ・ 国立教育政策研究所 幼児教育研究センター ホームページ

幼兒教育

國學院大學教授 神長 美津子



独立行政法人教職員支援機構